

Oral health

The Sakata model

T. Kumagai, N. Kumagai, M. Nishi, K. Shibuya,

BRITISH DENTAL JOURNAL | VOLUME 224 NO. 1 | JANUARY 12 2018

口腔保健

Sakata モデル

編集長殿、医療システムの多くの課題に取り組むため、地域包括ケアシステム (ICCS)¹ を構築するための法律を、最近、日本は成立させました。Wilsonが論評²に明確に述べたように、ICCSの中でも、口腔保健は根本的な部分を担っています。最近、日本の厚生労働省の委員会は、専門家間の協力、ICCSの中の口腔ケア、予防歯科を推進することを勧告しました³。日本政府は、現在、このラインに沿って口腔医療の新しいビジョンを作成しているところです。

しかしながら、医療システムは、将来、新しい「社会システム」として再構築されるべきなので、我々は、ホリスティックケアだけでは十分でないと考えています。2015年、厚労大臣に任命されて、30代、40代の若い専門家で構成する委員会が、ヘルスケアのビジョン、Health Care 2035 を作りました⁴。酒田市（人口10万人）はこの観点を持つモデルが存在する、日本のユニークな地方都市です。1980年以来、(DDSというよりも「オーラルフィジシャン」になろうと自らと全国の他の歯科医師を再教育している) 歯科医師、歯科衛生士、専門（歯科）医、地域看護師、教師、公務員らが、民間セクター、大学研究所、市民社会と共同し、患者の価値を強調したホリスティックな方法で口腔ケアを向上させるという、新しい社会システムを徐々に発展させてきました⁵。地元企業は、従業員とその家族のために、また、生産性を上げるために、予防口腔ケアに資金を投じ始めています。このグループは、大企業と一緒に、患者が転勤しても医療の質を連続させることを啓蒙・促進するための共同体を発展させています。この共同体は、クラウドを使った、患者中心型の健康情報システムを作っています。このシステムは、「KEEP 28」

という名前の大きな目標に向かって、各個人が自分自身のライフスタイルをデザインできるようにすることにより、様々な個人データを統合し、ヘルスプロモーションと疾病予防に対するパーソナライズド・アプローチを容易にします。「KEEP 28」とは、たとえ100年の人生であっても、全身と口腔の健康のために自分自身の全ての歯を保つという目標です。2016年、このグループのこれらの活動に明らかに影響されつつ、酒田市は、口腔ケアについてのホリスティック・アプローチのための条例を制定しました⁶。Wilson教授の提案した口腔ケアの促進は、Health Care 2035のビジョンにも沿いながら、日本の地方都市で既に行われているのです。

参考文献

省略

2018/01/19

翻訳：西 真紀子